

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州中野きのこ生産の歴史と未来
事業主体 (連絡先)	一般社団法人日本きのこマイスター協会 中野市大字中野1457-1
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,062,954円 (うち支援金: 1,630,000円)

事業内容

”きのこの可能性”をキーワードに、きのこの企画展を開催し、同時に子供達を対象にワークショップ及びキッズきのこマイスター認定、きのこ観察会等を開催してきのこの魅力を発信。

- ・企画展 (中野市立博物館): 9月~11月
- ・ワークショップ開催
 - ①9月13日 中野市中央公民館
 - ②10月25日 中野地域職業訓練センター
 - ③11月29日 中野市中央公民館
- ・キッズきのこマイスター認定
- ・きのこ観察会: 10月4日



【企画展の様子】

【目標・ねらい】

- ① “きのこの可能性” をキーワードに今後の成長のポイントとなる食や健康にスポットライトをあてきのこへの理解を深める。
- ② きのこ好きになる子供達を育成。

事業効果

① 企画展の開催

「食と健康」にスポットライトをあて、きのこ加工製品の紹介やきのここと健康について、理解を深めていただき、きのこを食べることで健康な身体になることなどを発信した。また、同時併催したきのこ総選挙が目ざされきのこへの興味を促進した。

② ワークショップの開催

きのこを使ったお菓子作り、きのこ栽培の現場視察と収穫、自ら体験できる栽培キットづくりを行い、きのこに親しみ、知識を深めることができた。3回のワークショップにすべて参加した11名の小学生には、「キッズきのこマイスター」が授与された。

※自己評価【 B 】

【理由】

新型コロナウイルスの影響もあり来場者は目標には届かなかったが、きのこ総選挙が話題となり多くの方に来場していただけた。

今後の取り組み

きのこの未来を展望するさらに進化した課題の提起や、ワークショップでは運営課題(定員数、回数など)の反省を生かしたい。コロナ禍でも中野市民の皆様を始め、全国のきのこファンが集える「きのこ生産の歴史と未来展」を次年度も実施したい。

また、誕生したキッズきのこマイスターと一緒にきのこの魅力をPRしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある